

アシステック2014（研究成果発表会）

兵庫県立福祉のまちづくり研究所では、県民の方々および各関係機関へ平成25年度の研究開発成果の理解を深めていただくことを目的に『アシステック2014』を開催します。

まちづくり、コミュニケーション機器、福祉用具、義肢装具などの多様な分野についての発表および研究成果の展示を行いますので、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時：平成26年5月23日(金)13:30～16:30（受付13:00～）

場所：兵庫県立総合リハビリテーションセンター内

福祉のまちづくり研究所 2階共同制作室

1. 開会の挨拶(13:30～13:35) 福祉のまちづくり研究所長 陳 隆明

2. 研究所の取り組みの概要(13:35～13:45) 福祉のまちづくり研究所次長 西村 靖彦

3. 研究成果発表

【研究第一グループ】(13:45～14:45)

(1) 福祉のまちづくりアドバイザーの育成とバリアフリー検証

—県民参加型の点検と助言による施設改善に関する研究、福祉のまちづくりアドバイザー制度を強化するための指針策定—

研究第一グループ 難波 健

(2) 高齢者・障害者の生活を支援するための交通づくり

—高齢者・障害者の生活支援交通づくり普及に向けた研究から—

研究第一グループ 北川 博巳

(3) タブレット端末がもたらす知的障害・発達障害時のコミュニケーション支援

—ICT機器を活用した知的障害児、発達障害児のコミュニケーション支援に関する研究から—

研究第一グループ 大森 清博

休憩(5分)

【展示品説明】(14:50～15:20)

- ◆ タブレットを触ってみよう—知的・発達障害児のコミュニケーション支援のアプリケーション
- ◆ 盲ろう者の生活支援機器の取組み
- ◆ ぽんぽんわーど金魚すくいゲーム大会 — iPhone、iPad 対応の認知・訓練アプリ —
- ◆ 飲み込みやすい姿勢を保持する枕 マイスワロー&イージースワロー
- ◆ 転倒しにくく坂道もらくらく 電動アシスト四輪車（試作品）
- ◆ ロボットリハビリテーション研究成果から

休憩(10分)

【研究第二グループ】(15:30～16:30)

(4) カメラの前から離れても身体の動きが見えて、記録できるモーションレコーダー

—無線式身体動作計測評価システムに関する研究から—

研究第二グループ 本田雄一郎

(5) 足により電動車椅子上で iPad を操作するための支援 ほか

—高齢者・障害者の個別のニーズに対応した福祉用具等の開発から—

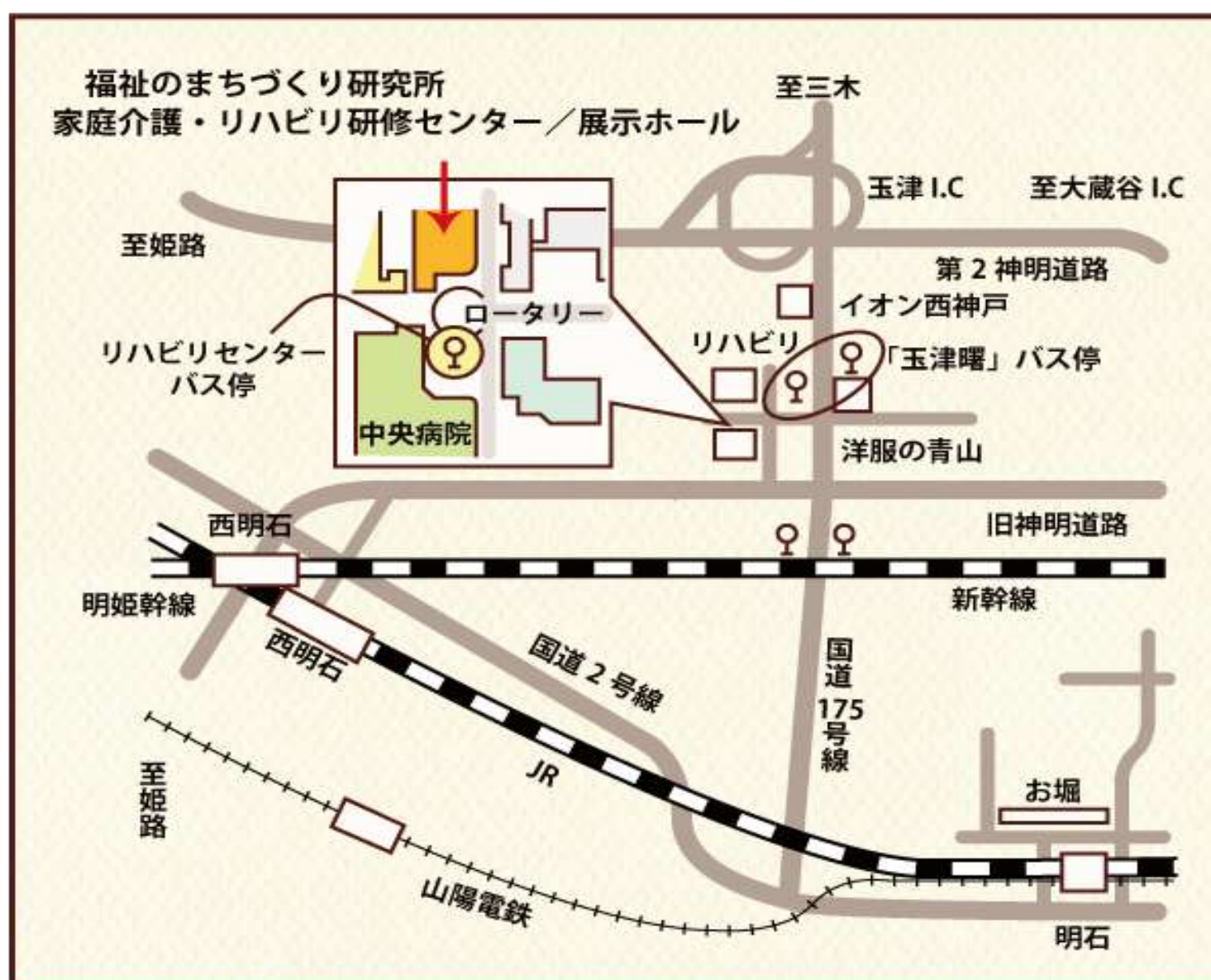
研究第二グループ 中村 俊哉

(6) 入院期間中に転倒・転落する確率を予測する

—転倒・転落リスク評価指標に関する研究から—

研究第二グループ 原 良昭

会場案内



【お問い合わせ】：〒651-2181

神戸市西区曙町1070 総合リハビリテーションセンター内
兵庫県立福祉のまちづくり研究所 企画情報課

TEL：(078) 925-9283 FAX：(078) 925-9284

E-mail：info00@assistech.hwc.or.jp

なお当日は車椅子席、磁気ループ席の用意及び手話通訳の方の派遣を予定していますので、ご希望の方は申込書の該当欄に○印を記入の上、お申し込み下さい。